

両勾配のある対面2車線を1工程で同時に施工できるコンクリート舗装工法で、品質の向上や省力化等、さまざまなメリットを持ち合わせています。

概要

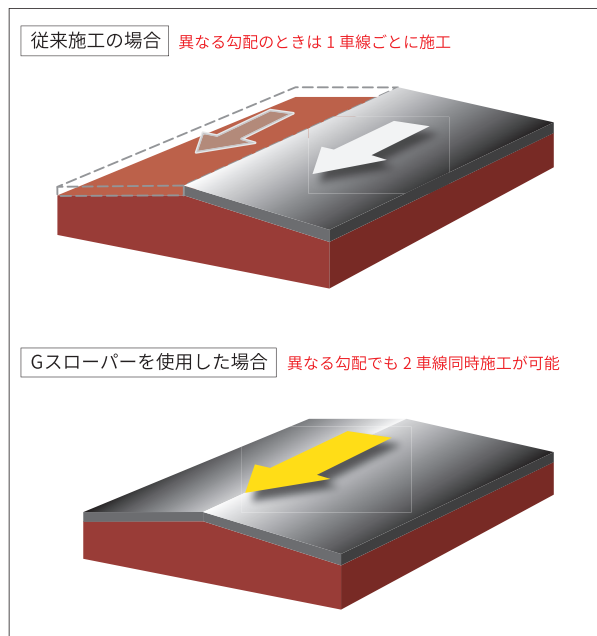
コンクリート舗装の施工のうち、異なる横断勾配の対面2車線を1工程で同時に施工できる舗装工法です。従来は横断勾配が異なる場合はそれぞれ1車線ずつ施工していましたが、Gスローパを用いることで、車線中央部の型枠設置作業や機械移設作業などを省くことができ、これにより品質の向上、工期の短縮、施工の省力化およびこれらに伴う安全性が向上します。

特長

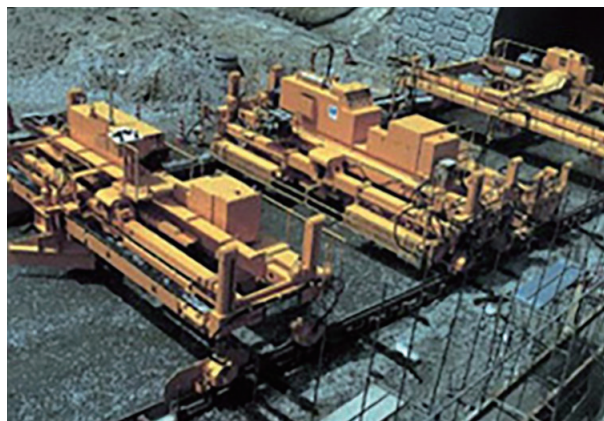
- ▶ 片勾配から両勾配への変化にも対応できる機構（リンク方式、ローラガイド方式等）を備えています。
- ▶ 中央部の山形を正確に仕上げることができます。
- ▶ 運転席から勾配量をコントロールできます。
- ▶ 車線中央部の型枠の据え付け作業が省けます。
- ▶ トンネルの施工では中央部で荷おろしできます。
- ▶ 縦目地となる中央部の締め固めを確実に行えます。
- ▶ 両車線を均質に施工できます。
- ▶ 縦目地の通りが良く、平坦性に優れています。
- ▶ 縦目地がダミー目地になり、ネジなしタイバーを使用するので接合作業が省けます。

適用場所

- ▶ 車道（高規格道路、一般道路、特にトンネル部）
- ▶ 空港（エプロン等）
- ▶ 港湾（コンテナヤード等）
- ▶ 駐車場、工場・物流センター、建機ヤード



概念図



Gスローパ



施工状況

* 名前の由来 *

GRADIENT SLOPER

GRADIENT=「勾配」、SLOPER=「傾斜をつける機械」の意味から名付けられました。